

## 1 単元名 バスケットボール

## 2 運動の特性

## (1) 一般的特性

2つのチームが入り交じり、手でボールを操作し、パスやドリブルを使って攻めたり、味方と協力して相手の攻撃を防いだりして、ゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

## (2) 子どもから見た特性 (男子 12 名 女子 18 名 計 30 名)

## A 運動の楽しさの体験状況

## ①体育は好きですか。

とても好き	好き	嫌い	とても嫌い
13名	15名	2名	0名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体を動かすことが好きだから (16名)</li> <li>・ 協力・助け合いができる教科だから (4名)</li> <li>・ 絆が深まるから (2名)</li> <li>・ 楽しいから (2名)</li> <li>・ 達成感が味わえるから (2名)</li> <li>・ 成長がわかるから (1名)</li> <li>・ いろんなことに挑戦できるから (1名)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手だから (2名)</li> </ul>	

## ②バスケットボールは好きですか。

とても好き	好き	嫌い	とても嫌い
17名	11名	2名	0名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴールできたときにうれしいから (12名)</li> <li>・ ボールを使うことが好きだから (6名)</li> <li>・ 友だちと協力できるから (5名)</li> <li>・ 対戦するのが好きだから (2名)</li> <li>・ シュート練習が好きだから (1名)</li> <li>・ 励まし合いができるから (1名)</li> <li>・ 作戦を考えるのが好きだから (1名)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手だから (2名)</li> </ul>	

## ③バスケットボールで楽しいとき、楽しくないときはどんなときですか。(複数回答)

楽しいとき	楽しくないとき
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シュートをして得点が入ったとき (24名)</li> <li>・ パスをしたり、もらったりするとき (12名)</li> <li>・ 試合をして勝ったとき (5名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にない (15名)</li> <li>・ パスがうまく回らないとき (5名)</li> <li>・ ぶつかったりこけたりしてしまったとき</li> </ul>

・チームワークがよいとき (5名)	(4名)
・試合に向けて練習しているとき (3名)	・ボールを取られたとき (3名)
・作戦を考えているとき (1名)	・失敗してしまったとき (1名)
・試合で競っているとき (1名)	・試合をして負けたとき (1名)
	・見学したとき (1名)

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

① バスケットボールの学習で自分に合っためあてをもって学習できますか。

毎回できる	できる	自信がない	できない
9名	20名	1名	0名

② 学習を進めていくうえで、困ったときはどうしますか。(自由回答)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に聞く (17名)</li> <li>・友だちに聞く (13名)</li> <li>・いろんなものを参考にして考える (5名)</li> <li>・友だちと協力したり、話し合ったりする (4名)</li> <li>・親に聞く (1名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あきらめず繰り返し練習する (5名)</li> </ul>
--	---

③ だれとでも協力して学習を進めることができますか。

毎回できる	仲のよい友だちとならできる	自信がない	できない
18名	12名	0名	0名

④ チームのみんなが楽しめるルールやチームの作戦を考えることができますか。

毎回できる	できる	自信がない	できない
9名	18名	3名	0名

⑤ 友だちのよいプレーをほめたり、友だちにアドバイスしたりすることができますか。

毎回できる	できる	自信がない	できない
12名	16名	2名	0名

⑥ バスケットボールの学習を進める中で1番大切なことは何だと思えますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで協力し、チームワークをよくすること (19名)</li> <li>・パスやシュートの技能を上げること (8名)</li> <li>・声をしっかり出すこと (6名)</li> <li>・作戦をしっかり話し合うこと (5名)</li> <li>・何事も本気でやること (1名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが楽しめること (5名)</li> <li>・ボールに触れること (2名)</li> <li>・練習をがんばること (1名)</li> </ul>
---	--

C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況

番号	性別	10本 シュート	ジグザク ドリブル	ミニゲームでの動き			ボールを もらう動き	50M走
				ボールに 触れる	シュート をうつ	シュート を決める		
1	女	1本	10.1	△	△	△	○	9.5
2	女	4本	9.9	△	○	○	○	9.5
3	女	0本	7.1	◎	○	○	◎	8.7
4	女	2本	12.6	△	△	△	△	9.4
5	男	3本	8.4	◎	○	△	○	7.9
6	男	2本	9.8	○	△	△	○	8.6
7	男	5本	9.0	◎	○	△	◎	9.8
8	男	2本	9.0	○	○	△	○	8.8
9	女	2本	7.9	○	△	△	○	8.6
10	女	3本	7.4	◎	△	△	○	9.0
11	男	1本	8.0	○	△	△	○	8.9
12	女	1本	8.6	◎	◎	○	◎	8.0
13	男	2本	6.3	◎	◎	○	◎	8.6
14	女	6本	8.2	◎	◎	○	○	9.0
15	女	6本	7.5	◎	◎	○	◎	8.9
16	男	5本	8.3	◎	◎	○	◎	8.4
17	女	5本	8.3	◎	○	○	○	9.7
18	男	3本	7.9	◎	◎	○	◎	8.6
19	男	0本	14.1	△	△	△	△	9.2
20	女	3本	10.5	◎	○	○	○	8.9
21	男	3本	11.5	△	△	△	△	10.8
22	女	3本	10.0	◎	△	△	○	8.5
23	女	5本	9.0	◎	△	△	○	8.5
24	女	2本	9.8	○	△	△	△	10.5
25	女	5本	7.5	◎	○	○	◎	8.9
26	男	5本	6.0	◎	◎	◎	◎	8.2
27	女	1本	11.4	○	△	△	△	9.6
28	女	8本	7.4	◎	◎	◎	◎	8.1
29	男	2本	8.9	○	△	△	△	8.9
30	女	4本	9.6	◎	◎	○	○	8.9

※10本シュート 2メートルの距離から斜め45度のシュート

※ジグザグドリブル 23メートルの距離で5回のターンを要するコース

※ボールをもらう動き ◎ 動いてパスをもらえる ○ 動こうとしている △ 動けない

<考察>

#### A 運動の楽しさの体験状況について

本学級のほとんどの子どもたちは、体育学習が「好き」で、体を動かすことを楽しみに感じている。また、休み時間などの時間においても、外に行き活発に遊ぶことが好きな子どもがほとんどであり、特にその中でもボール運動を好む子どもが多い。その一方で、運動に対する苦手意識から、体育学習が「嫌い」と答えた子どももいるが、体育の学習中は一生懸命楽しそうに活動している様子が見られる。

「バスケットボール」の学習に対しては、「シュートをして得点が入るとうれしい」「パスをもらったり、いいパスをしたりするとうれしい」などの理由をあげ、好きな子どもが多数いる。しかし、「パスがうまく回らない」「ボールを取られてしまう」などの理由から、嫌いと感じている子どももいる。5年生の時に、「バスケットボール」の学習を経験しており、少人数のチームでたくさんボールに触れて楽しむことができた。ボールを持っていない時に動こうと意識している子どもは多数いるものの、スペースに走りこむ動きはまだ身につけていないと言える。それらの理由から、「パスがうまく回らない」や「ボールを取られてしまう」場面が多々あり、苦手意識をもってしまったと考えられる。

そこで本単元では、「ボールを持っていない時の動き方」や「スペースを考えながらのボールの運び方」の技能を高めるとともに、「全員がボールにふれること」や「運動が苦手な子どもでも楽しめる」ルールや学習の道すじを工夫していきたい。

#### B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況について

本学級の子どもたちは、学習意欲が高く、友だちと協力して学習をすすめる大切さを理解している子がたくさんいる。しかし、自分に合っためあてをもって学習したり、チームのみんなが楽しめるルールやチームの作戦を考えたりすることには、自信をもっていない子どももいる。今までの体育学習において、めあて学習の経験はしているが、何をポイントにしてめあてをたてたらよいか、また自分の課題を把握できていない子どももいると考えられる。

本単元では、一人一人が、自分に合っためあてをもつことができるようにしていきたい。そこで、授業の中で気が付いた技能のポイントや良い動きなどを学級で共有し、掲示しておくことで、それを参考にめあてをもてるように声をかけていく。また、学習を進める中で、「みんなで協力すること」や「チームワーク」を大切にしていきたいと考えている子どもがたくさんいる。この思いを常に意識して学習を進めることができるよう、認め合いや励まし合いを奨励し、みんなが楽しめるような雰囲気づくりを心がけて指導支援をしていきたい。

#### C 運動の楽しさを味わうための技能の習得状況について

実態調査では、以下の項目を実施した。

- ① ゴールから2メートル離れた斜め45度からのシュート（10本 守備・時間制限なし）
- ② バスケットボールのエンドライン（22メートル）を使ったジグザグドリブル
- ③ 試しのゲームでのボールに触れた回数・シュートを打った回数・シュートが入った回数

（4分間）

④ 試しのゲームでのボールをもらう動き      ⑤ 50メートル走

実態調査の結果より、バスケットボールの学習経験はあるものの、シュートの技能が身につけていないことがわかる。特に低いのがシュートの技能である。守備や時間制限がないフリーの状態でのシュートであるにも関わらず、半数の5本以上を決めている子どもは全体の30%に満たない。また、1本も入らないという子どももいる。バスケットボールのゲームでは、守備もいる状況でシュートをしなければならないが、この状況下でシュートが入らないということは、ゲームでもシュートがほとんど入らないことが予想される。ゲームにおいては、まったくボールに触れていない子どもやボールをもらう動きができない子どもが非常にたくさん見られた。また、動き方がわからず立っていたり、ボールをもらおうと動こうとはしているものの守備から離れてボールをもらったり、スペースを考えて動いてボールをもらったりすることができる子どもがほとんど見られなかった。

以上の実態より、一人一人のシュートの技能やボールの持っていないときの動き方が習得できるような学習活動の工夫をしていきたいと考える。また、動き方のポイントが理解できていない子どもが多く見られたので、動き方のポイントを図示したものを掲示することで子どもたちにゴールまでボールをできるだけスムーズに運べるように指導していきたい。ボールの運び方として必要な技能は、ドリブルとパスの2つが有効だが、本單元では、みんながボールに触れることを大事にしていきたいので、試合の前にパスゲームを行い、パスのまわし方を習得し、それがゲームで生かされるようにしていきたい。

### 3 視点と学習の手だて

#### (1) 市教研体育部の研究仮説

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

#### (2) 学習の手だて

視点1 子どもの実態を的確に把握するとともに、運動の特性と指導内容を明確にした上で道すじや学習活動を工夫し、ねらいを明らかにすることで子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようにする。

##### ○パスゲームの設定

試しのゲームでは、ボール操作を得意とする子がドリブルでゴールに向かって進んでいく場面が多く見られた。その理由としては、ボールをもっていないチームメイトがディフェンスのマークを外してボールをもらう動きができていないからパスが通らなかつたり、ボールをもっている子どもが、自分本位で進めていたりすることが考えられる。そこで、ねらい①では、ゲームを行う前にパスゲームの時間を設定する。ここでは、ドリブルはなしにして、ハーフコートの中で、3対2の数的優位の中でのパスゲームにする。このゲームの中でパスかシュートしかできない状況をつくり、そのことによってボールをもっていない子どもは、空いているスペースに入り込んでパスをもらったり、ディフェンスのマークを外してボールをもらったりする動きをせざるを得なくなる。ノーマークの状態を作り、確実にシュートまでいけるようなゲームにしていけば、その動きを試合の中でも活用できると考えた。動き方がわからない子どもも多数いると考えられるため、動き方のポイントを助言したり、手本を見せたり、また子どもた

ちのなかからいい動きがあったものを賞賛したりしながら学習を進めていきたい。

視点2 一人一人のよさを伸ばし、できる喜びを実感できる手立てを工夫する。

#### ○ルールや場の工夫

本学級の子どもたちは、技能の差が大きく、ボールの扱いや操作が苦手な子どもが多く見られる。そこで、ねらい①では、誰もがバスケットボールの楽しさや喜びを味わえることができるように、どの子どもボールに触れ、シュートが決められるようなルールで学習をスタートする。

【はじめのルール】※学習を進める中で、子どもたちと相談をして修正していく。

◎前半3分 後半3分

◎セルフジャッジ

◎1チーム3人（4人チームは前後半で交代）

◎グリッドコートでの3対2

◎反則があった場合は、相手チームのスローインから始める。

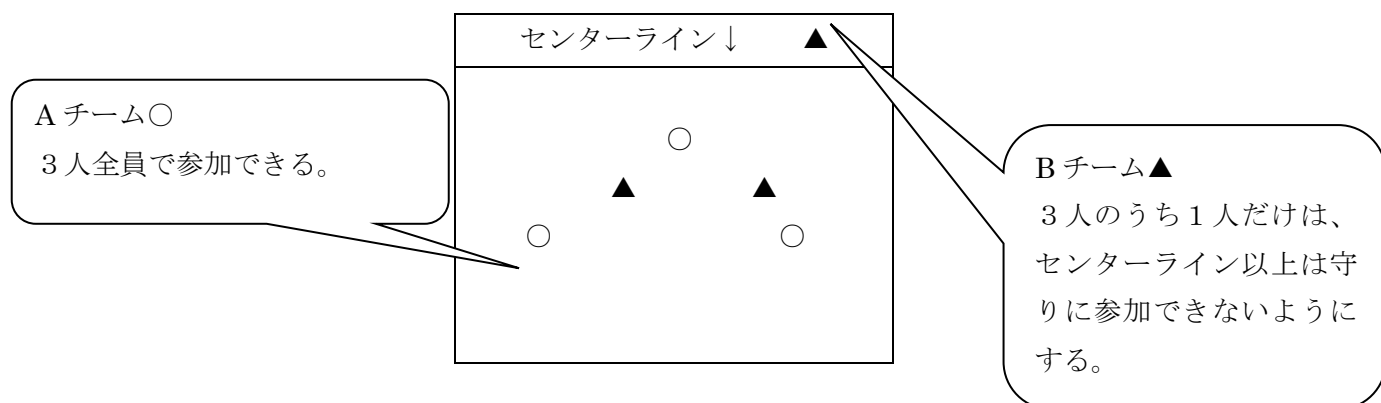
◎点数が入ったときは、決めた人が点数を入れる。

◎点数を入れられた後のスローインは、ディフェンスのパスカットはなし。

◎チームワーク得点 →前後半を通じて、チームの全員が得点したら、10点追加

ねらい②では、自分チームや相手のチームの特徴を考慮し、作戦を立て、一人一人の良さが発揮でき、楽しいゲームになるような学習にしていきたい。「あの友達はまだ得点をしていないから、ボールを回そう」「チーム全員が得点できるようにして、試合に勝とう」など、子どもの願いが実現できるように自己選択の幅をもたせていきたい。そうすることにより、自分のこだわりをもって試合に臨み、主体的に活動できると考える。

また、ゲームでは、シュートとパスを回す機会が増えるよう3人のうち1人をオフenseマンとして攻撃側を有利にさせる。そうすることで、ノーマークのシュートやノーマークの子へのパスが容易になり、シュートチャンスが増え、得点をとる楽しさを味わうことができ、能力差に関係なく楽しく学習できると考えられる。



#### ○作戦タイムの設定

子どもたちの事前調査より、バスケットボールの学習において、大切だと考えることは、「チームワーク」と答える子どもが多数いた。そこで、この学習では、ゲームの合間にチームで話し合いをし、作戦を考える時間を十分に確保していきたい。

作戦ボードを使用し、チームごとに「どのように攻めるか」をマグネットで動かしながら、作戦を立てていく。例えば、ボールに集まってしまうチームは、スペースを考えて動くこと、シュートまでなかなかいけないチームは、シュートまで持って行くためにはどのようなポジションでボールをもらえば有効かなどを話し合う場になるだろう。また、相手チームの特徴をとらえたうえで、攻め方の作戦だけでなく、守り方の作戦もでてくることも考えられる。

**【考えられる作戦の例】**

- ◎背が高い人がいるから、リバウンドをがんばって攻める回数を増やそう。
- ◎足の速い人がいるから、両サイドを駆け上がって速攻で攻めよう。
- ◎空いているスペースに走りこんで、シュートを狙おう。
- ◎相手チームの攻めの中心は、〇〇さんだから、ディフェンスのうまい〇〇さんがマークしよう。
- ◎相手は、遠いシュートはあまり入らないので、中を固めてリバウンドを確実に取ろう。

○掲示物の活用

試しのゲームにおいて、ボールをもっていない時の動きを身につけていない子どもがたくさん見られた。ほとんどの子どもはボールをもらおうと動いてはいるが、ディフェンスを外してボールをもらえず、パスが回らない状況が多く見られた。よって、この学習では、よい動き方があったときや、うまくパスが回った時の動きを学習カードに図示させ、それを掲示物にしてまとめていく。特にねらい①では、いい動きを称賛し、紹介する。実際に動いてみることで、子どもたちがどのようなことを意識して動けばよいのか、またどんな練習をすればよいのかが分かり、自分やチームのめあて達成の資料になると考えた。

#### 4 学習のねらい

○バスケットボールの学習に関心を持ち、仲間と協力して、ゲームを楽しむことができるようにする。 【関心・意欲・態度】

○自分に合っためあてをたてたり、チームに合った作戦をたてたりすることができるようにする。 【思考・判断】

○ボールを持っていないときに空いている場所を見つけ走りこんだり、ノーマークを作ったりする動きからパスを受け取ることができるようにする。 【技能】

#### 5 評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ルールやマナーを守り、友達と助け合っ て練習やゲームをしようとしている。</li> <li>・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>・運動をする場を整理したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んで いる。</li> <li>・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では、簡易化されたゲームで、攻守が入り混じった攻防をするためのボール操作や、ボールを受けるための動きができる。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バスケットボールの学習に進んで取り組もうとしている。</li> <li>②ルールやマナーを守り、友だちと助け合っ て練習やゲームをしようとしている。</li> <li>③用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>④運動をする場を整理したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを考 えている。</li> <li>②チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を考 えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バスケットボールの基本的なボール操作やシュー トができる。</li> <li>②ボールの受けやすい位置に移動し、パスを受け ることができる。</li> <li>③フリーの味方に、取りやすいパスをすることが できる。</li> </ul>






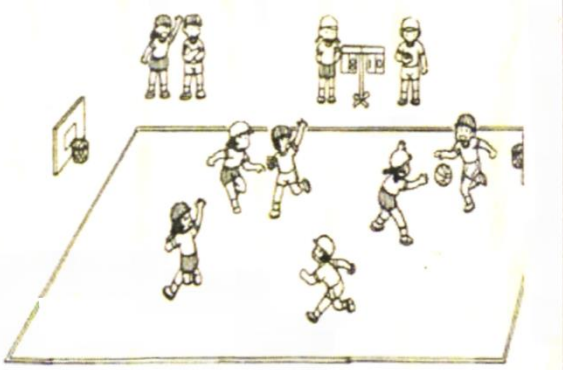
6 学習過程

	1	2	3	4	5	6	7 (本時)	8
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	パスゲーム				パスゲーム		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ねらい①                      簡単なルールで、マナーを守って、バスケットボールのゲームを楽しむ。                      (総当たり戦)                 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ねらい②                      チームに合った作戦を考えてバスケットボールのゲームを楽しむ。                      (対抗戦)                 </div>		
	まとめ							
	後片付け・準備運動							
関	① ②	④	①		④		②	③
思				①		②	②	
技		①	②	③		①		③

7 学習活動と教師の支援

はじめ	<p>1 オリエンテーションをする。</p> <p>○学習のねらいや道すじ、安全やマナーを理解し、学習の進め方の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールやマナーについて</li> <li>・学習カードの使い方</li> <li>・チーム編成</li> <li>・バスケットボールに必要な道具や場の準備、安全な取り組み方</li> </ul> <p>2 パスゲームを通して、シュートやパスの仕方・コツを知る。</p> <p>3 試しのゲームを行い、ゲームの進め方を知る。</p> <p>◇バスケットボールの学習に進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度①】</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友だちと助け合って練習やゲームをしようとしている。 【関心・意欲・態度②】</p>	
	学習内容と活動	教師の指導・評価 (◇評価)
なか①	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <p>○ボールを使ってストレッチをする。</p> 	<p>○よく使う部分を中心に、伸ばしているところを意識しながら行うように声をかける。</p> <p>○ボール操作のポイントを確かめる。</p> <p>◇バスケットボールの学習に進んで取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度①】</p>

<p>2 パスゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○2チーム1ゴールを使い、パスゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリブルはなし</li> <li>・3対2の数的優位の状態で、ゴールまでねらう。</li> <li>・2分間続けて、1チームが攻め続ける。その後、2分間で攻守交代し、相手チームが攻め続ける。</li> </ul> </div> <p>3 ねらい①を確認する。</p>	<p>○ポイントを意識しながらできていたチームや子どもを称賛する。</p> <p>○数的優位を生かしてシュートまでいけているチームを称賛する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい① 簡単なルールで、バスケットボールのゲームを楽しむ。</p> </div>	
<p>○学習カードをもとに、本時のめあてを確認する。 〈予想されるめあて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が取りやすいパスをする。</li> <li>・ボールがもらえる位置に動く。</li> <li>・シュートのポイントを意識して打ち、シュートを入れる。</li> </ul> <p>4 第1ゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【はじめのルール】</b></p> <p>※学習を進める中で、子どもたちと相談をして修正していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎前半3分 後半3分</li> <li>◎セルフジャッジ</li> <li>◎1チーム3人（4人チームは前後半で交代）</li> <li>◎横グリッドのオフenseマンあり</li> <li>◎点数を入れられたあと、ファーストカットなし</li> <li>◎バックコートのパスは、ファーストカットなし</li> <li>◎反則があった場合は、相手チームのスローインから始める。</li> </ul> </div> <p>○総当たり戦のゲームをする。</p>	<p>○自分に合っためあてをもっているか確認し、状況に応じて助言する。</p> <p>◇ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを考えることができる。 <b>【思考・判断①】</b></p> <p>◇バスケットボールの基本的なボール操作やシュートができる。 <b>【技能①】</b></p> <p>○ルールやマナーをしっかりと守れるように確認する。</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 <b>【関心・意欲・態度②】</b></p> <p>○友達がとりやすいパスをしている子どもを称賛する。</p> <p>○つまづいている子には、一緒に動き、動き方を確認する。</p> <p>○得点が入ったら、一緒に喜ぶ。</p> <p>◇ボールの受けやすい位置に移動し、パスを受けることができる。 <b>【技能②】</b></p> <p>◇フリーの味方に、取りやすいパスをすること</p>

	<p>○チームで話し合う。</p> <p>【予想される話し合いの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空いているスペースに走ってパスをもらおう。</li> <li>・ボールに集まらないようにしよう。</li> <li>・パスがうまくつながり、いい形でシュートがねらえているね。</li> </ul> <p>5 第2ゲームを行う。 ※第1ゲームと同様に行う。</p>  <p>6 第3ゲームを行う。</p> <p>7 第4ゲームを行う。</p> <p>8 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードに、今日の振り返りを記入する。</li> <li>○良かった点や改善点を全体で確認する。</li> </ul> <p>9 整理運動をしてから、後片付けをする。</p>	<p>ができる。 【技能③】</p> <p>○各チームにまわり、課題をもっているチームに助言をしたり、いいプレイがでたチームを称賛したりする。</p> <p>◇チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を考えている。 【思考・判断②】</p> <p>○前の試合での反省や課題を改善しようとしている子を称賛する。</p> <p>◇フリーの味方に、取りやすいパスをすることができる。 【技能③】</p> <p>○全体で共通理解したいことができていた子に発言させる。</p> <p>○チーム全体や個人の良かった動きを全体の場で例示させ、称賛する。</p> <p>○学習の反省をして、次時の見通しをもたせる。</p> <p>○友達と協力して安全に片付けることを確認する。</p> <p>◇用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度③】</p>
<p>な か ②</p>	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チームごとに集まってボールを使ってストレッチをする。</li> </ul>	<p>○よく使う筋肉を意識させながら、しっかりとストレッチするように声をかける。</p>

2 パスゲームをする。

【予想される動きの例】

- ・パスをもらったら、シュートをねらう
- ・スペースを意識した動き方の確認をする。
- ・パスをしたら、スペースに走りこむ。

○ねらい①で確認したよい動きなどを取り入れて練習するよう助言する。

◇運動をする場を整理したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。

【関心・意欲・態度④】

3 学習のねらい②を確認する。

チームに合った作戦を考えてバスケットボールのゲームを楽しむ。

○学習カードをもとにチームの作戦を立て、めあてを確認する。

○自分のめあてを確認し、学習への見通しをもたせる。

◇ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、自分に合っためあてを考えている。

【思考・判断①】

4 対戦相手、ルールを確認し、ゲームの準備をする。

○チームの特徴にあったルールを的確に選択するように助言する。

◇チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を考えている。

【思考・判断②】

5 第1ゲームを行う。

○対抗戦のゲームをする。



【ゲーム】

- ◎チームの話し合い 2分
- ◎前半 4分
- ◎チームの話し合い 1分
- ◎後半 4分

○はじめのあいさつやマナーがしっかりまもられているか確認する。

○次のプレーを予測して動いている子を称賛する。

◇バスケットボールの基本的なボール操作やシュートができる。

【技能①】

○シュートを積極的にねらっている子を称賛する。

◇ボールの受けやすい位置に移動し、パスを受けることができる。

【技能②】

○チームで話し合う。

【予想される話し合いの例】

- ・あの子がまだシュートをしていないから、

○うまく作戦を考えられないチームがあれば、一緒に考える。

○チームに必要な課題を明確に把握するよう



	<p>あの子にボールを回してシュートをねらわせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのボールになったら、できるだけ前に走ってボールをはやく運んでシュートまでもっていこう。</li> <li>・相手の攻めの中心は〇〇さんだから、〇〇さんには、ディフェンスが上手な△△さんがつこう。</li> </ul> <p>6 同じ相手と第2ゲームを行う。</p> <p>7 チームで振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードに今日の振り返りを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦成功のために自分の役割を果たすことができたか。</li> </ul> </li> <li>○良かった点や改善点を全体で確認する。</li> </ul> <p>8 学習のまとめをする。</p> <p>9 整理運動をしてから、後片付けをする</p>	<p>助言する。</p> <p>◇チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を考えている。 【思考・判断②】</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 【関心・意欲・態度②】</p> <p>○作戦の反省を具体的に話し合っているチームを称賛する。</p> <p>◇フリーの味方に、取りやすいパスをすることができる。 【技能③】</p> <p>○作戦でうまくいったチームの動き方を全体で共有する。</p> <p>○みんなで協力して安全に片付けることを確認する。</p> <p>◇用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度③】</p>
まとめ	<p>10 学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バスケットボールを楽しく学習することができたか。</li> <li>○友達と協力してルールやマナーを守ってゲームをすることができたか。</li> <li>○ボール操作やシュートが上達したか。</li> <li>○チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームに合った作戦を考えることができたか。</li> </ul>	